

砺波市

FUJII ORTHOPAEDIC CLINIC
藤井整形外科医院
(整形外科)

院長 藤井 正則



整形外科専門医

真心のこもった医療で「歯と骨と関節」を包括的に

当院は昭和43年11月に整形外科医院として開院して以来、今年で52年の月日が経ちました。開院当初は入院設備もありましたが、現在は外来診療を中心に、昨年から藤井歯科クリニックを併設し、「歯と骨と関節」を包括的に診療する医院を目指して日々研鑽しています。

私は、中学から大学まで柔道をしていて全日本柔道連盟、全日本医師柔道連盟、砺波市柔道会の会員でもあります。40歳を過ぎてから誘われるまま道場に通うようになり、講道館五段、全柔連公認C審判員及び公認B指導者の資格も取りました。全日本医師柔道連盟の試合と懇親会が毎年、東京都文京区にある講道館本部で行われ、日本全国から上は80歳代まで約40名が集まり、旧交を温めています。色々なスポーツ医がありますが、私の場合はスポーツを嗜む競技者目線のスポーツ医として、競技者に寄り添う診療に心がけています。これからもよろしくお願ひ申し上げます。



砺波市栄町613 TEL 0763-32-5220

受付時間	月	火	水	木	金	土	日
9:00~12:00	○	○	○	○	○	○	—
14:00~18:00	○	○	—	○	○	—	—

休診日 水・土曜午後、日曜・祝日

砺波市訪問看護
ステーションの紹介



当訪問看護ステーションのスタッフは、看護師14名、理学療法士2名、作業療法士1名、事務補助3名の、総勢20名のチームです。昨年度の利用者実数は274人で、県内2番目に多い人数でした。主治医が必要を認めたとすべの方が対象ですので、年齢制限はありません。現在は0歳から104歳の方にサービスを提供しています。

終末期、精神疾患、難病、人工呼吸器の管理が必要な方など、医療ニーズの高い方にも対応し、24時間365日の対応体制をとっています。利用者やご家族からの時間外及び休日の連絡に対して、電話での助言・指導や緊急訪問をし、かかりつけ医や救急外来と連絡・連携をとって、不安の軽減に努めています。

かかりつけ医はもとより、ケアマネジャーや介護サービス事業所など多職種との連携、また病院併設のため入院時から在宅移行まで各部署と連携を図り、地域医療部の一員として、地域に貢献して参ります。

当訪問看護ステーションは、病気や障害があっても家で暮らしたい、家族と暮らしたいと望むご本人やご家族の意思決定を支援し、また自立を促します。疾病予防・介護予防に加え、介護技術のアドバイスも行い、疾病リスクを予測しながら、個々の生活様式に合ったオーダーメイドの看護・リハビリを提供して、療養生活と生き方を支援しています。



編集後記

早いもので今年も衣替えの候となりました。まだまだ新型コロナウイルス感染症が猛威を振るい、医療も日常生活も感染に気遣う新しい変化にさらされています。変わり、適応していくことが求められていると感じておりますが、そのような中でもこれまでと変わらず地域の皆様とともにコロナ禍を乗り越えていくべく務めていきたいと思ひます。今後ともよろしくお願ひします。(I.N)



連絡先 地域医療連携室 TEL 0763-32-8361 FAX 0763-33-1591

地域医療支援病院 市立砺波総合病院

おあしす連携だより

2020年
10月発行

vol.3

〒939-1395 富山県砺波市新富町1番61号 TEL 0763-32-3320 <https://www.city.tonami.toyama.jp/tgh/>

整形外科のご紹介

関係各位の皆様には平素より大変お世話になり誠にありがとうございます。

整形外科の紹介をさせていただきます。

令和元年10月から常勤1名が増員となり、現在整形外科は高木泰孝、山田泰士、江原栄文、林寛之、木谷聡、豊岡加朱、石野雄士の常勤7名および非常勤の北野喜行で診療を行っています。

骨肉腫などの悪性骨軟部腫瘍を除く、外傷、脊椎・脊髄外科、脊髄損傷、関節外科、スポーツ医学などのほぼ全ての整形外科疾患全般を幅広くカバーしています。

骨折部門では、四肢骨折に対してAO法に拠って治療を行っています。開放骨折、粉碎骨折、骨盤骨折に対して、症例に応じて一時的に創外固定器を使用しています。

関節部門では、変形性関節症に対して人工股関節置換術(THA)、人工膝関節置換術(TKA)などの人工関節置換術を施行しています。人工関節置換術においては、手術機器の改良と手技習熟により、手術手技が通常より多少難しいことが問題ですが、皮膚切開をより小さくすることにより、筋肉に対する切開を小さくすることが可能となり、術後の早期回復につながり患者さんに喜ばれています。中でも人工股関節置換術において、前側方進入法による人工股関節置換術(THA)を導入しています。前側方進入法は、股関節前面を約6cm~10cm程度切開し腱や筋肉を切らない筋・腱温存型の最小侵襲人工股関節置換術(MIS: minimally invasive surgery)であり、人工関節術後の欠点である脱臼の予防にも有利であり、術後の姿勢、活動の制限は行っておりません。

脊椎部門では、腰椎椎間板ヘルニアに対して内視

整形外科
主任部長 高木 泰孝

Takagi Yasutaka



鏡下腰椎椎間板ヘルニア摘出術(MED法)または棘突起縦割式椎間板ヘルニア摘出術を症例に応じて施行し、低侵襲手術を行っています。2018年8月に保険適応となった腰椎椎間板ヘルニアに対する椎間板内酵素注入療法(ヘルニコア注入)を導入致しました。ヘルニコア注入は椎間板内の髄核に薬剤を直接注入してヘルニアによる神経の圧迫を弱める方法です。また症例によっては低侵襲腰椎側方侵入椎体間固定術(XLIF)を施行しています。XLIFによる手術は、皮膚切開が少なく済み、経皮的椎弓根スクリュー刺入術(PPS)という術式を組み合わせることにより背中へのダメージを抑えることができ、出血も少量で済みます。さらに難治性疼痛に対して、脊髄硬膜外腔に電極を留置し、脊髄を持続的に刺激することにより疼痛を軽減させる脊髄刺激療法を施行しています。また、脳脊髄疾患による重度痙縮に対しては、バクロフェン髄腔内投与療法(ITB療法)を施行しています。

低侵襲手術に取り組むことで入院期間を短縮することができるようになりました。病状が良くなるように診断・診療致します。

先生方におかれましては変わらないご支援を頂きましたら幸いです。今後ともよろしくお願ひ申し上げます。



後列左から石野医員、林部長、山田部長、木谷医長
前列左から豊岡医員、北野元院長、高木主任部長、江原部長

担当一覧

	月	火	水	木	金
午前	初診	高木 木谷	豊岡	林	江原 山田
	再診	山田 林 木谷 石野 豊岡 (不定期11:00~)	山田 江原 木谷 石野	高木 豊岡 石野 (10:00~) 山田 (不定期)	高木 江原 林 山田 木谷 豊岡 高木 (8:30~10:00)
午後 (再診予約のみ)	山田 (16:00~17:00) スポーツ外来		北野		



泌尿器科
主任部長 江川 雅之
Egawa Masayuki

泌尿器科の紹介

泌尿器科の紹介をさせていただきます。2020年10月現在、当科は3人体制(江川主任部長、一松部長、林医員)で泌尿器科診療を行っております。今回は、患者さんに対する当科の基本方針(というより私個人の考え)を紹介したいと思います。それは、「患者さんには、自分の身内に対してと同じように接し診療を行う」というものです。

医療の進歩は急速であり、泌尿器科領域においても、特に癌に対する新薬が次々と登場し、またロボット手術などの新しい技術が導入されています。このような進歩のお陰で、これまで治療が困難であった多くの患者さんが救われています。しかし、特に若い医師にありがちなことですが、「新しいことをやってみたい、挑戦したい」との思いが強くなり過ぎて、病気以外の状況(患者さんの年齢や信条など)への配慮が希薄なまま、自身の能力を超えた医療を適応する傾向があります。一方、いわゆるベテラン医師にありがちなことですが、新しい知見や技術に置いてきぼりとなり、本来患者さんが得られるはずの利益を毀損することがあります。私自身は、後者にならないよう気を付ける必要がありますし、若い医師には、前者にならないよう常々お願いをしております。特に難しい治療(高難易度手術など)を必要とする患者さんに対しては、それを実行する前に、必ず「自分の近い身内であっても同じこと

ができるか?自分にその治療を行う能力と責任感があるのか?」を自問してもらっています。

当科では、医師3人が常に相談・連携しながら、診断と治療を行っています。患者さんにはできるだけ優しく接し、ご本人だけでなく、ご家族の事情や背景にも配慮するよう心掛けております。先生方ならびに地域医療関係者の皆様から「総合病院の泌尿器科に任せておけば大丈夫」と、患者さんやご家族へ話していただけるように精進してまいります。今後とも、何卒よろしくお願ひ申し上げます。



左から 一松部長 江川主任部長 林医員

担当一覧

		月	火	水	木	金
午前	初診	江川	林	一松	江川	一松
	再診	一松・林	江川・一松	江川・林		林
午後(予約のみ)			当番医			

新採紹介



産婦人科医員
かわぐち みほこ
川口 美保子

Q1 医師経験年数を教えてください
(R2.4.1現在)

A 医師7年目

Q2 趣味・特技・マイブームは何ですか?

A 読書、映画鑑賞、おうちエクササイズ

Q3 抱負など何でもどうぞ

A 地域医療に貢献できるよう、日々の診療に取り組みます。患者様に寄り添える医療を目指しています。お気軽にご相談ください。

南砺市

医療法人社団嘉奉会
城端理休クリニック
(内科 外科)

院長 松 智彦
まつ とも ひこ



外科専門医 救急専門医 消化器内視鏡専門医 消化器病専門医

南砺市から胃癌を撲滅するのが目標

平成14年から内科・外科で開業しています。元外科医。一応外科、消化器病、救急の専門医と、内視鏡の指導医を維持しています。力を入れているのは経鼻内視鏡による胃癌検診とピロリ菌の除菌です。3次除菌に関しては南砺市民病院の消化器内科にお願いしています。(砺波総合には断られたので)今年から南砺市の中学生の健康診断に血液検査が加わったため、ピロリ菌の検査も追加するよう現在行政と協議中です。将来的には南砺市から胃癌を撲滅するのが目標です。

日課は愛犬との散歩。南砺の田園を朝晩併せて1日14000歩は歩きます。歩幅は75cmなので10kmは歩いています。「毎日10km散歩する犬ってどんな犬やねん?」とツッコミが来そうなので紹介します。体重9kgの2歳のミニチュアシュナウザー(♂)です。ミニチュアにしてはやや大きめです。

得意な分野はTactical Medicine、射撃的(テキ)を外しません。この14年間防衛招集も災害招集も受けず平和で何より。定年まであと1年あります。



我が家の訓練隊長



野外衛生訓練中!

南砺市理休270 TEL 0763-62-3325

受付時間	月	火	水	木	金	土	日
8:30~12:30	○	○	○	○	○	○	-
14:00~18:00	○	○	○	-	○	-	-

※水曜15:00~18:00

休診日 木・土曜午後、日曜・祝日 臨時休診あり

大規模災害等で防衛大臣から予備自衛官(医官)の院長に招集命令が下りたときは、クリニックが休診になることがあります。

小矢部市

沼田医院
(整形外科 小児科 内科 外科
胃腸科 リハビリテーション科)

院長 沼田 仁成
ぬまた じんせい



医学博士 日本整形外科学会専門医 日本整形外科学会脊椎脊髄病医 リウマチ医 産業医

ジェネラル整形外科医の経験を活かして

昭和28年、亡き父が当地で開業してより約60年が経ちましたが、私が引き継いでからも早くも約20年経ちました。金沢医科大学の応援のもと、整形外科、小児科、内科、外科、胃腸科、リハビリテーション科を標榜しています。

私が引き継いだ頃は、整形外科の受け持つ範囲も広がったんですが、最近リウマチ治療は薬物療法がメインとなり内科へ、手の外科、顔面外傷は形成外科に移行しつつあります。整形外科的疾患についても脊椎外科、関節外科、スポーツ外傷、骨軟部腫瘍、足の外科、骨粗鬆症、リハビリと分野も専門的になっています。

そのため専門的治療が必要な疾患はその専門病院へ紹介しなければならなくなってきています。今後どの専門病院へ紹介するかが大事になってきます。今まで培ってきたジェネラル整形外科医の経験を大いに利用して、自分でできること、紹介しなければならぬことを分別してやっていきたいと思っています。そのため貴院にもどんどん紹介させていただきたいと思っています。よろしくお願ひします。



小矢部市石動町8-36 TEL 0766-67-1162

受付時間	月	火	水	木	金	土	日
9:00~12:00	○	○	○	○	○	○	-
14:00~18:00	○	○	○	○	○	○	-

休診日 日曜・祝日 臨時休診あり

備考 外科・胃腸科は水曜午前のみの診察

小児科午後診察時間は15:00~18:00